Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/02/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.62	0.01
JPY/THB	0.2566	0.0002
USD/JPY	134.84	-0.17
EUR/THB	36.71	-0.15
EUR/USD	1.0605	-0.0043
USD/CNH	6.904	0.011
SGD/THB	25.83	0.01
AUD/THB	23.56	-0.17
USD/INR	82.86	0.06
USD Index	104.59	0.41

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.168	0.017
10Y (THB)	2.587	0.023
5Y (USD)	4.151	-0.023
10Y (USD)	3.916	-0.037

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,832.0	-1
WTI (Oil)	73.95	-2.21
Copper	9,112.0	-88.5

Stock

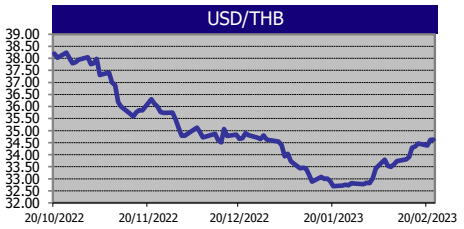
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,659.48	-9.15
NIKKEI (JP)	27,104.32	-368.78
DOW (US)	33,045.09	-84.50
S&P500 (US)	3,991.05	-6.29
SHCOMP (CN	3,291.15	-15.38
DAX(GER)	15,399.89	2.27

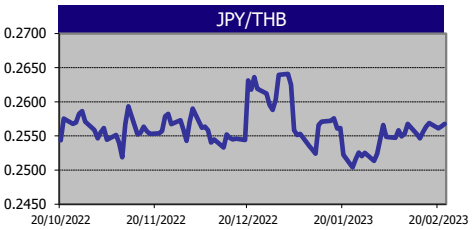
Fund Flow (Overseas Investors)

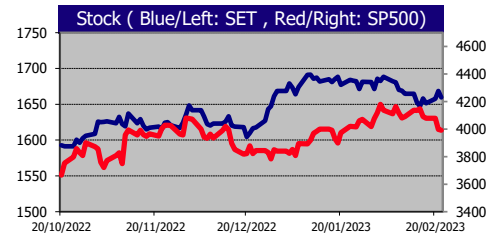
	Close	CHANGE
Stock net flow	(4,278)	-30.3
Bond net flow	(364)	-5209.8

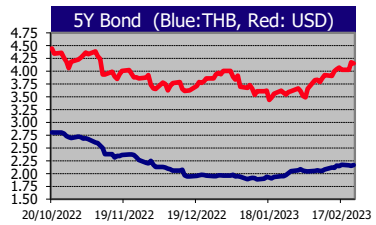
*compared with previous day

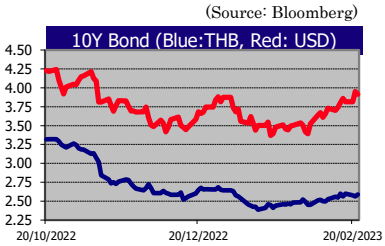
(Source: Bloomberg)

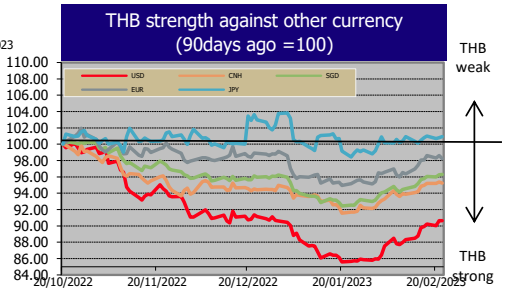


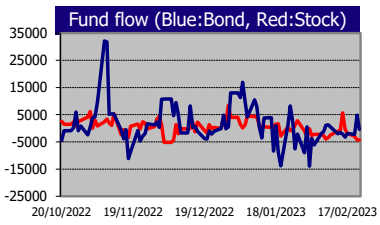


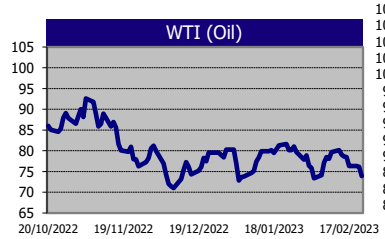












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・昨日のドルバーツは狭いレンジでの推移。34バーツ台後半でスタートしたドルバーツは、海外時間にFOMC議事要旨(1月31日-2月1日開催分)の公表を控え、米利上げ継続に対する警戒感燻る中、ややドル買い優勢の展開に。ただ、バンコク時間午後には34バーツ半ば付近まで戻し、同水準にて議事要旨発表を迎えた。注目された内容は、ほとんど全てのメンバーが0.25%の利上げに賛同(数人が0.50%の利上げを主張)し、「インフレ率が2%に向けて持続的な低下基調にあると確認するまで、景気抑制的な政策スタンスが維持される必要」があるとし、それまでには「いくらか時間がかかる可能性が高い」とされた。議事要旨公表後はドル買いで反応したものの、特段サプライズとなる内容でもなかったことから、ドルバーツの水準を変えるには至らず。結局、34.62レベルでクローズを迎え、一日を通して34バーツ半ばから後半にかけてのレンジ推移に留まった。

●ドル円その他

・昨日のドル円は方向感に欠ける推移。135円ちょうど付近でスタートしたドル円は、昨年12月中旬以来の高値水準で推移する中、相応の売りも見られ、一時134円台半ば付近まで下落。その後はFOMC議事要旨の公表を控える中、134円台後半まで値を戻した。海外時間に入り、タカ派の代表格として知られるブラード・セントルイス連銀総裁がインタビューにて米経済について「6-8週間前に考えていたよりも回復力があり、物価上昇率が低下し、経済成長が緩やかに鈍化すると予想している」と述べ、ややスタンスが軟化したと捉えられると、ドル円は再び134円半ば付近へ。その後公表されたFOMC議事要旨の内容を受けてドル買いが進むも、135円を突破するには至らず、結局134.84レベルでクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨晩公開されたFOMCの前回2月会合議事録において、数人の参加者が50bpの利上げを望んでいたことが判明しました。結果的には25bpの利上げが決定され、パウエル議長による記者会見も含めて、全体的にややハト派よりの印象を残した会合でしたが、議事録の中身はややタカ派よりの印象です。議事録の記載内容はある程度直近の相場状況を見ながら調整していると考えられることから、FRBは足元の米金利上昇を追認したとも言えると思います。
その米金利ですが、市場が織り込む2023年末の米政策金利は5.15%近辺まで上昇し、遂にFOMCメンバーの予測中央値である5.125%を超えるに至りました。また先週、一部FOMCメンバーから、次回3月FOMC会合における50bp利上げも排除しない、との発言もあったことから、市場が織り込む3月会合での利上げ幅も30bp程度まで上昇しています。今後も強い経済指標が続くのであれば、FRBは金融引き締めの度合を更に強化することになりますが、足元の金利上昇は、年初来の過度な金利低下の巻き戻しの側面も強く、やや行き過ぎの領域に入って来ていると考えます。米金利上昇に伴う現状のドル高はこの辺りで一旦止まるものと予想します。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.